

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

山の暮らしをさぐってみよう！

金、水晶、材木、炭、獣・・・。山梨の四方を囲む山々は鉱物から動植物まで豊かな資源に恵まれています。昔から人々は、豊かな資源をもとにして、いろいろな生活を営んでいました。

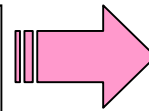


小正月のツクリモノの巻

山の道具がたくさん見えますね

いくつありますか？ どんな道具がありますか？

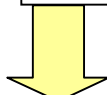
個



林業の巻

県土の約8割を森林がしめる山梨では、古くから林業が営まれていました。伐採した材木はどうやって運んだのでしょうか。

に組む。



川を流す。

清水（静岡）などに運ぶ。



海上を船で運ぶ。

江戸や上方（大阪方面）に運ばれ、建築材料として使われる。



紙漉の巻

江戸時代、市川大門と西島（身延町）では、冬から春にかけて幕府のご用のため紙漉を行っていました。紙漉の展示をよく見て考えましょう。

家の中でおっさんは何をしていますのでしょうか。

外で板に貼り付けているのはなんでしょう。



観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

山の暮らしをさぐってみよう！

金、水晶、材木、炭、獣・・・。山梨の四方を囲む山々は鉱物から動植物まで豊かな資源に恵まれています。昔から人々は、豊かな資源をもとにして、いろいろな生活を営んでいました。



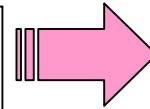
小正月のツクリモノの巻

山の道具がたくさん見えますね

いくつありますか？ どんな道具がありますか？

30 個

のこぎり、おの、など

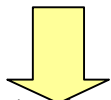


林業の巻

県土の約8割を森林がしめる山梨では、古くから林業が営まれていました。伐採した材木はどうやって運んだのでしょうか。

いかだ

に組む。



川を流す。

清水（静岡）などに運ぶ。



海上を船で運ぶ。

江戸や上方（大阪方面）に運ばれ、建築材料として使われる。



紙漉の巻

江戸時代、市川大門と西島（身延町）では、冬から春にかけて幕府のご用のため紙漉を行っていました。紙漉の展示をよく見て考えましょう。

家の中でおっかさんは何をしていますのでしょうか。

紙をすいている。

外で板に貼り付けているのは为什么呢。

すいた紙。



観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

山の暮らしをさぐってみよう！ 2

金山の巻

山梨には黒川金山など多くの金山がありました。雨畑金山は江戸時代を通して採掘され、甲州金が造られました。



甲州金

展示されている甲州金を見つけたらスケッチしましょう。

早川町奈良田地区の焼き畑の巻

展示を見て焼き畑の手順について考えよう。

() に数字を入れてみよう。

1年目の春 焼き畑づくり



6月 粟のウナイ



12月 雪の中の粟穫り (以後2年間収穫する)



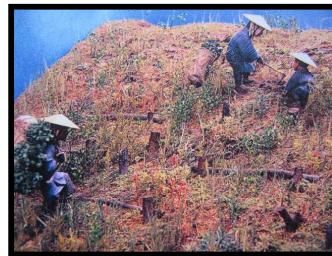
()年後の春 ハンノキの植林



()年後の春 焼き畑づくり



粟のウナイ



ヒント
「学びの引き出し」
をみよう！！

ハンノキを植えてしばらく畑として使わない一番の理由は何でしょう。

- ア 薪にする木がほしいから。
- イ 作業がたいへんだから休むため
- ウ 土の栄養を回復させるため
- エ その他 ()

自分の予想 () 答え ()

(分からないときは、博物館の方に聞いてみよう！！)

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

山の暮らしをさぐってみよう！ 2

金山の巻

山梨には黒川金山など多くの金山がありました。雨畑金山は江戸時代を通して採掘され、甲州金が造られました。



甲州金

展示されている甲州金を見つけたらスケッチしましょう。

早川町奈良田地区の焼き畑の巻

展示を見て焼き畑の手順について考えよう。

() に数字を入れてみよう。

1年目の春 焼き畑づくり



6月 粟のウナイ



12月 雪の中の粟穫り (以後2年間収穫する)



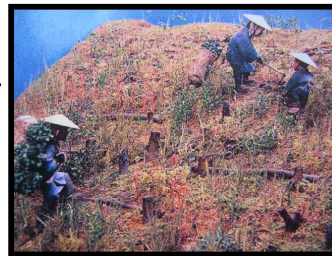
(3)年後の春 はんのきの植林



(12)年後の春 焼き畑づくり



粟のウナイ



ヒント
「学びの引き出し」
をみよう！！

はんのきを植えてしばらく畑として使わない一番の理由は何でしょう。

ア 薪にする木がほしいから。

イ 作業がたいへんだから休むため

ウ 土の栄養を回復させるため

エ その他 ()

自分の予想 ()

答え ()

植物は空気中の窒素を直接利用することはできません。ところが、マメの仲間やハンノキの仲間のいくつかは、根に根粒菌が共生しており、この菌が空気中の窒素を固定して植物体に供給するため、痩せた土地でも十分成長することができます。

観覧日： かんらんび 年 月 日 学校 年 氏名：

「山の恵み」って何でしょう？

山梨県は、県の面積の約8割が山地や森林です。昔から人々は山とともに生活してきました。山は人々に「恵み」をもたらしてくれたのです。
ここでは、山に生きる人々の姿を学習していきます。



山の恵み その1

鉱産資源 きん (金などの有用な資源のこと)

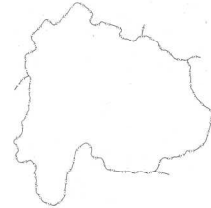
山梨県で金山が開発されたのは()世紀頃からです。

〔発展〕この頃の山梨は ?
このころ活躍した人物やできごとについて調べてみましょう。

山梨県の主な金山を調べてみましょう。

(左の金山名と地図中の位置を矢印で結びましょう)

黒川金山・
(甲州市)
湯之奥金山・
(身延町)
雨畑金山・
(早川町)



〔あなたの家の近くにもありますか？〕

信玄はこの金をどのように利用したのでしょうか？

()

もっと詳しいことを知りたい人は、**「湯之奥金山博物館」**に問い合わせしてみましょう。



「かなやま金山衆」は、江戸時代になってからはどのような活躍をしたのでしょうか？

()

ジオラマを見て、金鉱石を砕くのに使っている道具をひとつ答えてください。

()

山の恵み その2

木材

「そま杉の衆」ってなんですか？

()

右の写真は何をしているのでしょうか？

()



甲斐国の木材はどこに運ばれ、どのように利用されたのでしょうか？

()

杉の衆が夕飯の前に行わなければならないことは何でしょうか。...()

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

「山の恵み」って何でしょう？

山梨県は、県の面積の約8割が山地や森林です。昔から人々は山とともに生活してきました。山は人々に「恵み」をもたらしてくれたのです。
ここでは、山に生きる人々の姿を学習していきます。



山の恵み その1

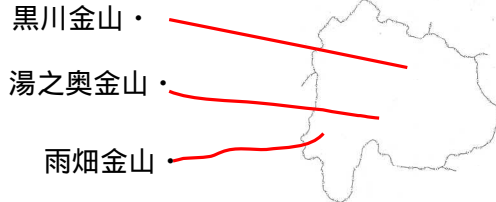
鉱産資源 (金などの有用な資源のこと)

山梨県で金山が開発されたのは(16)世紀頃からです。

〔発展〕この頃の山梨は？
このころ山梨で活躍した人物やできごとについて調べてみましょう。
・人物...武田信虎, 信玄, 勝頼など
・できごと...武田による他国への侵略, 治水事業の推進, 度量衡の統一 など

山梨県の主な金山を調べてみましょう。

(左の金山名と地図中の位置を矢印で結びましょう)



〔あなたの家の近くにもありますか？〕

信玄はこの金をどのように利用したのでしょうか？

〔領国開発や戦争の資金として利用した。〕

もっと詳しいことを知りたい人は、「湯之奥金山博物館」に問い合わせてみましょう。

「^{かなやま}金山衆」は、江戸時代になってからはどのような活躍をしたのでしょうか？

〔優れた土木技術を生かして、全国各地の開発で指導的役割を果たした。〕



ジオラマを見て、金鉱石を砕くのに使っている道具をひとつ教えてください。

〔石臼, 金槌など〕

山の恵み その2

木材

「^{そま}杉の衆」ってなんですか？

〔林業を行う職人のこと〕

右の写真は何をしているのでしょうか？

〔切り出した木を筏に組んで運んでいる。〕



甲斐国の木材はどこに運ばれ、どのように利用されたのでしょうか？

〔清水(現在の静岡県)に運ばれ、さらに江戸や大坂に運ばれて、江戸城の建設などに利用された。〕

杉の衆が夕飯の前に行わなければならないことは何でしょうか... (道具の手入れ)

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

山の恵み その3

かみすき こうぞ
紙漉（清水と楮）

甲斐国では、すでに（ ）時代から紙の生産が行われていたことが、延喜式などの資料から分かっています。戦国時代には人肌紙と呼ばれる和紙が武田氏に納められていたようです。江戸時代になると、（ ）川の流域や甲府盆地北部の村々で紙漉が盛んになり、市川大門や西島では、（ ）に納める御用紙を作っていました。この紙漉の伝統は、地場産業として現在にも受け継がれています。

（ ）にことばを入れましょう。

なぜ、この地域では紙漉が盛んになったのでしょうか？

原因 1・・・

原因 2・・・

ヒントは原料と水です

紙漉小屋の軒につるされている紐のようなものは何ですか。

{ }

〔発展〕現在、和紙はどのようなものに多く使われているのでしょうか？

{ }

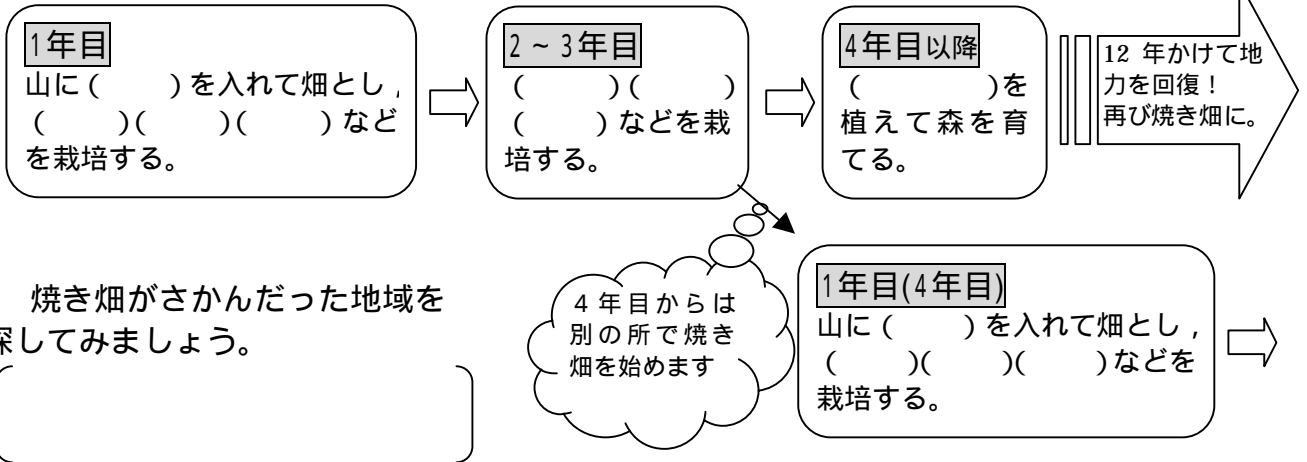
もっと詳しいことを知りたい人は、「西島和紙の里資料館」に問い合わせてみましょう。



山の恵み その4

焼き畑

焼き畑のサイクルを調べましょう。



焼き畑がさかんだった地域を探してみましょう。

{ }

ハンノキを植えたのは何月かな？（ジオラマを見て！） ...（ ）月

この方法は、自然をうまく利用した環境に負荷をかけにくい農業と言えるかもしれません。

観覧日： 年 月 日 学校 年 氏名：

山の恵み その3

かみすき こうぞ
紙漉(清水と楮)

甲斐国では、すでに(平安)時代から紙の生産が行われていたことが、延喜式などの資料から分かっています。戦国時代には人肌紙と呼ばれる和紙が武田氏に納められていたようです。江戸時代になると、(富士)川の流域や甲府盆地北部の村々で紙漉が盛んになり、市川大門や西島では、(幕府)に納める御用紙を作っていました。この紙漉の伝統は、地場産業として現在にも受け継がれています。

()にことばを入れましょう。

なぜ、この地域では紙漉が盛んになったのでしょうか？

- 原因1・・・原料であるコウゾやミツマタがたくさんとれた。
- 原因2・・・紙漉に必要なきれいな水がたくさん手に入った。

ヒントは原料と水です

紙漉小屋の軒につるされている紐のようなものは何ですか。

{ 紙の原料となるコウゾ }

もっと詳しいことを知りたい人は、「西島和紙の里資料館」に問い合わせてみましょう。

〔発展〕現在、山梨の和紙はどのようなものに多く使われているのでしょうか？

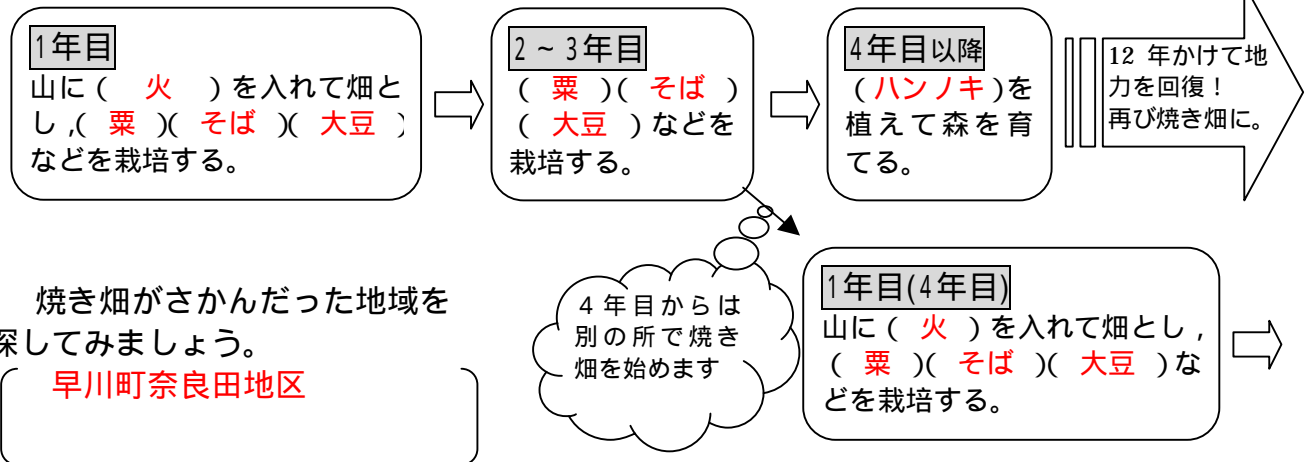
{ 神社のお札や習字用の紙として利用されている。 }



山の恵み その4

焼き畑

焼き畑のサイクルを調べましょう。



ハンノキを植えたのは何月かな？(ジオラマを見て!) ... (4)月

この方法は、自然をうまく利用した環境に負荷をかけにくい農業と言えるかもしれません。